

発行所
〒920-0022 金沢市北安江4丁目15-15
(一社)石川県建築組合連合会
TEL (076) 262-4714・FAX (076) 262-4718
ホームページ http://www.kenchiku-ishikawa.com/
編 集 広 報 部 会

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

建連いしかわ

家を建てるなら石川県建築組合連合会
加盟の信頼できる大工さんにお任せくだ
さい。北陸の風土に適した木造住宅を一
軒、一軒、心を込めて造ります。
そこには「安心」があります。
一般社団法人 石川県建築組合連合会

第46回

石川の技能まつりに参加

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

9時から開会式が行わ
れ、県立七尾東雲高校の代
表生徒による開会宣言に引
き続き、平成30年度職業能
力開発関係表彰があり、県
連関係では、技能顕功賞知
事表彰に東生泰さん(金沢
市建築組合)と船本好晴さ
ん(七尾建築組合)の2名
が、越馬技能奨励賞に安達
巧さん(金沢市建築組合)
が表彰された。大変おめで
とございます。



展示・即
売コーナーの隣に設けた包
丁研ぎコーナーも毎年人気
があり、担当の役員さん
がグラインダー掛けや仕
上げ砥石掛けに大忙しで
あった。

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

CSと集成材の工場見学

(株)中東を訪問…青年部

今回の青年部見学会は能
美市の(株)中東を訪ねま
した。能登地区から加賀地
区までの30余名の参加があ
り、前任の地区部長や初め
て顔を会わす方から「オッ
ス」と声掛けがあるなど近
況話で盛り上がりました。

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

「もっと知ろう もっと
体験しよう 技能と技術」
をテーマに第46回「石川の
技能まつり」が、平成30年
10月21日(日) 石川県産業
展示館3号館及び石川職業
能力開発促進センターの両
会場において開催され、県
連も例年どおり参加した。

今回の青年部見学会は能
美市の(株)中東を訪ねま
した。能登地区から加賀地
区までの30余名の参加があ
り、前任の地区部長や初め
て顔を会わす方から「オッ
ス」と声掛けがあるなど近
況話で盛り上がりました。

今回の青年部見学会は能
美市の(株)中東を訪ねま
した。能登地区から加賀地
区までの30余名の参加があ
り、前任の地区部長や初め
て顔を会わす方から「オッ
ス」と声掛けがあるなど近
況話で盛り上がりました。

今回の青年部見学会は能
美市の(株)中東を訪ねま
した。能登地区から加賀地
区までの30余名の参加があ
り、前任の地区部長や初め
て顔を会わす方から「オッ
ス」と声掛けがあるなど近
況話で盛り上がりました。

箱作りコーナーでは子供達
が、青年部の皆さんからや
さしく指導を受けながら懸
命に取り組んでいて、傍ら
には真剣な眼差しで見守っ
ているお父さん・お母さん
の姿が微笑ましかった。

また、一昨年から企画さ
れている「職人簡単体験」
のカンナ削り体験コーナー
では、定員を超える小・中
学生(34人)が挑戦した。

技術部や指導部の役員さん
に手を添えてもらいな
ら真剣に取り組んでいた。
削ったカンナ屑を自慢げに
両親に見せて喜ぶなど、皆
さんむずかしくも楽しい体
験が出来たようだ。小学生
が、将来になりたい職業に大
工さんを上位10位内にあ
げる理由を垣間見た気が
した。

恒例の「いしかわ技の祭
典」では、24種目196名
が参加する中、建築大工
の部門には、建設共同職
業員がいました。この作業
員の作業状況は、いつも
いる現場のようでも「ホッ
ト」した感じがしま
した。

2時間の見学会でありま
したが、あっという間に過
ぎ「参加して良かったな
あ」と感動を覚え、中東様
には大変親切丁寧な説明を
頂いたこと深く感謝してお
ります。大変ありがとうございました。
(場内は撮影禁止でした。)
(青年部 副部長 吉田 尚司)

2時間の見学会でありま
したが、あっという間に過
ぎ「参加して良かったな
あ」と感動を覚え、中東様
には大変親切丁寧な説明を
頂いたこと深く感謝してお
ります。大変ありがとうございました。
(場内は撮影禁止でした。)
(青年部 副部長 吉田 尚司)

業訓練校
の生徒1
名を含め
計7名の
選手が出
場、他に
将来大工
を目指す金沢市立工業高校
建築科生徒2名も一緒に出
場し、日頃磨いた腕を競い
合った。一般来場者は、日
頃間近で見ることの出来な
い数々の大工の「技」を真
剣に見入っていた。

一方、会場内の一角に
は、現代の名工紹介コー
ナーが設けられ、県連から
は昨年大工部門で受賞した
佐田秀造氏が自作品や製作
中の写真が紹介された。

まつり最後の閉会式では
技の祭典の表彰式が行わ
れ、建築大工部門では、小
堀直人さん(中島町建築組
合)が優秀賞、沖洋政さん
(金沢市建築組合)が
優秀賞及び特別賞を受賞
した。

最後にありますが、皆様
から寄贈頂いた即売品の集
計額は16万1千3百円とな
り出品者の皆様に心から感
謝申し上げます。

最後にありますが、皆様
から寄贈頂いた即売品の集
計額は16万1千3百円とな
り出品者の皆様に心から感
謝申し上げます。

最後にありますが、皆様
から寄贈頂いた即売品の集
計額は16万1千3百円とな
り出品者の皆様に心から感
謝申し上げます。

に必要な道具を作業場所に分
け、後は受付用のテーブルや
用具の設置・準備を行い、開
始の時間がくるのを待ちまし
た。その間少し時間があつた
ので、他のブースを見に行き
ました。技能まつり自体が初
めてのため、こんなにも多種
多様な催しを行っているのに
驚き、またそれ以上にとても
興味が湧きました。

開始の時間がきてその場
で待機していると、すぐにお
客さんが来たのですが、人数
が少なく多少不安がありまし
た。でもその後作業スペース
が無くなる程沢山の人が来て
一気に忙しくなり、ほぼ終わ
りまで途切れずお客さんがい
ました。その中で自分が教え
ることに多少の不安があつた
ものの、初めのお客さんでの
対応でその不安は一気に吹き
飛び、その後は最後まで接客
が楽しくでき、宝石箱を作っ
ていた子、お父さん、お母さ
んも喜んでくれたのを見て、
自分もホントに嬉しくなつた
のを覚えています。作業途中
の真剣な顔や、失敗したとき
の残念な顔、上手に出来たと
きの嬉しい顔が今でも浮かん
できます。ただ自分が感じた
事は作業途中でポンドの切れ
が多々あったので、その点等
を改善して次に繋げられたら
いいなと思いました。

最後に皆で協力してこの宝
石箱作りが出来た事、成功し
た事がなにより嬉しく、喜び
を感じました。
(青年部 会計 加藤 啓祐)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------|----------------|------------------|------------------------|----------|--------------------|---------|--------------------------|------------------|---------|---------------------------|-----------------|--------|-------------|-------------------|---------------------------|---------|-----------------|--------------|--------|----------|-----------------|-------------|-----------------------|-----------------|------------------------------|-----------------|-------------|--------|----------------------------|--------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------|-------------------|------|
| 橋立建築組合
奥江 清裕様
まな板1枚 | 三木建築組合
石蔵 祥博様
まな板1枚 | 山中建築組合
山城 久明様
メニューボード1枚 | 藤田 義雄様
すのこ2枚 | 中谷 勝男様
額11枚 | 小松市建築組合
角 定雄様 | キャスター付きラゴン1台
筒前 祐司様 | 段差スロープ4ヶ | 小松東部建築組合
中野 良彦様 | 茶道具茶蓋1台 | 御幸建築組合
戸井 満様
まな板2枚 | 鶴来建築組合
牧野 勝守様 | 寿司乗せ台7ヶ | 金沢市建築組合
井口 演久様
神棚1ヶ | 池田 英智様
すのこ8枚 | 田下 茂良様 | 木箱大2ヶ・木箱小2ヶ | 松本 吉弘様
松の化粧板1枚 | 玄閑踏み台2枚、大1枚
ブックススタンド6ヶ | けやき花台2ヶ | 中村 清光様
すのこ7枚 | 鍋敷き7ヶ・整理箱10ヶ | 高島 郁夫様 | ことじょうろ1ヶ | 南部 俊一様
まな板7枚 | お盆十スプーン4セット | 福田 道夫様
すのこ4枚・すのこ2枚 | 源 敏明様
パズル14ヶ | 金沢西部建築組合
長尾 信幸様
すのこ12枚 | 田端 成満様
すのこ6枚 | コーナーハンカース2枚 | 榎まな板2枚 | 富来町建築組合
坂下 稔様
まな板18枚 | 七尾鹿島連絡協議会様
額11枚 | 七尾建築組合
坂上 正一様
ペン立て20ヶ | 中島町建築組合
井平 秀一様
すのこ2枚 | 広川 静一様
すのこ2枚 | 技能コンクール選手
選手7名 | 脚立7脚 |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------|----------------|------------------|------------------------|----------|--------------------|---------|--------------------------|------------------|---------|---------------------------|-----------------|--------|-------------|-------------------|---------------------------|---------|-----------------|--------------|--------|----------|-----------------|-------------|-----------------------|-----------------|------------------------------|-----------------|-------------|--------|----------------------------|--------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------|-------------------|------|

国保 前年度同額 二八七六・二億円を確保

現行水準確保の見通し

政府は平成30年12月21日、2019年度予算案を閣議決定しました。このこととは各県連・組合で、ハガキをめぐり全力で取り組んできた結果であります。石川県連の皆様改めて感謝申し上げます。

(会長 松本吉弘)

全建総連予算要求中央決起大会

「賃金単価の引き上げ、要求予算確保」 団結して要求の実現へ

地元議員へ「建設国保の補助水準の確保と育成・強化」を要請
全建総連は11月20日、東京「日比谷野外音楽堂」等で「賃金・単価引き上げ、予算要求中央決起大会」を開催。41県連・組合から3,669名、石川県連からは松本会長、坂下副会長、任田会計理事の3名が参加した。

大会では、全建総連の吉田委員長が「現場で働く建設技能者の処遇改善が必ず「国保をはじめとした私たちの要求実現と来年度予算確保」の取組みへの協力を、勝野書記長が「国保組合への現行補助水準の確保が重要で、そのためにはハガキ要請と地元国会議員要請をやり切ることが大切」と訴えた。また、先の第59回定期大会で「若者に選ばれる建設産業にしていこう」と意思統一を行ったことを報告した。集会の後、全国の代表団による国土交通省、厚生労働省、財務省等各省庁への要請行動及び参加者による「建設国保を守れ」「賃金・単価を上げろ」「建設技能者の育成をはかれ」などシュプレヒコールをあげながら東京駅ま



【参議院議員】
岡田直樹・山田修路（本人対応）
宮本周司（本人対応）
（副会長 坂下 稔）

でデモ行進を行った。石川県連は決起大会参加に先立ち、議員会館にて地元選出の国会議員に対して要請行動も行いました。

○要請先
【衆議院議員】
馳 浩・佐々木紀（後日コメント）
西田昭二・近藤和也

第56回技能五輪全国大会 全国の若者代表と 技を競い合う

安達 巧さん 再度挑戦

大会スローガン「チャレンジズフォアザフューチャー」を掲げ、次世のものづくりを担う青年技能者が「技」の日本一を競い合う。



この大会は、地方予選などを勝ち上がった原則23歳以下の青年技能者たちが日頃の鍛錬の成果を競い合い、さらなる技能の向上を図ることなどを目的とし、今大会には42職種

1,292人が出場、0建築大工職種に84選手が出場した。建築大工の競技課題は「傾斜柱建て小屋組み」で競技時間を12時間とし、①原寸図、②部材の木削り、③墨付け、④加工仕上げ、⑤組立の順に2日間にわたって作業に取り組み、多くの関係者が見守る中、安達 巧さんも石川を代表して出場。さすがに全国からの腕自慢を自負する大会だけに完成作品はいずれも高レベルであり、金賞に千葉県の選手が、全建総連関係では銀賞に埼玉土建の成川

弘将さんが輝いた。石川代表の安達さんは健闘するも入賞にはいたらなかったが、「今回は昨年に続いて二度目の参加、改めて全国レベルの高さを実感。大会に参加するにはもっと練習を重ねる必要があると感じた。これから、この大会を経験し学んだことを仕事や資格試験に繋げていきたいと思っています。」と感想を述べた。

今後の活躍や次回に期待するとともに安達さんお疲れさまでした。

(講師 池田英智 参与)

平成30年度後期技能検定試験 受検準備講習会の開催



県連では、今年度の建築大工職の技能検定試験（1月19日（土）実施）に向け、試験会場と同じ金沢産業技術専門学校で、受講者8名を対象に11月25日から12月2、9、16日の各日曜日1時間程度で書き終える

の計4回実技講習会を行った。講習会は、試験課題を制限時間内に製作することを目標とし、現寸図作図の要領の理解と作図作業、墨付け・加工まで一連の作業に取り組んだ。講師からは最初に、合格への第一歩として「皆さんは加工作業は慣れているが、制限時間内に完成するには、各工程の時間配分が大切。特に作図は1時間程度で書き終える

ことが重要だ。」と説明。このため、日常業務では無い作図作業に多くの時間を掛け、また自宅での反復練習の成果もあって、ほとんどの方がほぼ予定時間内に書き終えることができるようになった。また、講師からは墨付け・加工時に間違えやすい箇所の注意点や製作の要領の説明があり、受講者は何度も質問する等熱心に受講していた。

そして最終日には「作図はほぼ正確に描けている。試験までの約1ヶ月間は時間を見つけて作図から加工の作業を出来るだけ練習し合格を目指してほしい。」と受講者への励ましのエールを送った。

講師氏名及び受講者人数は次のとおりでした。

【講師】
橋本 満
（金沢市建築組合）
小阪 広行
（輪島市建築組合）

【受講者】1級 8名

金沢城復元「匠の技」セミナーを開催

匠の技に県民の高い関心

今年で15回目を数える「石川の伝統的建造技術を伝える会」（事務局 県連）主催の「匠の技」セミナーは、11月10日（土）金沢城・兼六園管理事務所レクチャールームにおいて開催され、金沢城復元工事で培った技術と工事中の鼠多門復元工事について広く県民に紹介した。

にも恵まれ、一般の方35名が参加。はじめに石川県土木部営繕課長が、「今回、喜ばしいことに叙勲・褒章に金沢城の復元工事に携わった3人が受賞された。金沢城の仕事は次の世代に受け継いでいく励みとなる。」と述べ、伝える会の川元 傳会長が「今年で15回を数えるが、何度も参加されている方も多くおられる。また皆さんの復元工事に想いを込めた職人の話を聞こうという熱い気持ちに大変感謝している。」とあいさつした。

続いて各職専門工事の代表が復元工事での伝統技術



休憩を挟んで、営繕課長が鼠多門の特徴など概要を説明し、石材組合連合会の林一伸会長が石垣工事の進め方や苦心した事について映像をまじえて紹介した。その後工事中の現場を見学しセミナーを終了した。

参加者は各説明者の話を熱心に聴き入っており、また随所で質問されるなど匠の技に対する関心の高さが伺えた。

等を紹介。県連の加藤三郎相談役が鼠多門の木工事の進捗を、能登班と金沢班の2班体制で木材の加工中であり来春から建方に入ると話す。左官業組合連合会の大道浩理事が木舞や荒壁付けの作業工程等を、金属屋根協同組合の上出順司副理事長が鉛・銅板葺き工事の概要を、建具協同組合の石森良洋理事長が建具装飾の組子細工の簡単キットを参加者に配り職人の技を紹介した。タイル煉瓦事業協同組合の原田勝理事が海鼠壁に使われているいぶし平瓦を紹介、鳶工業会の井黒利治監事は鼠多門の足場施工について写真等を用いて説明し、「我々とび工は作業員の転落防止や風・雪による倒壊を年中心配している」と内心を明かす。造園



黄綬褒章受章にあたり



中島町建築組合
佐田 秀造

平成三十年秋の褒章に際しまして、はからずも黄綬褒章受章の栄に浴しましたところ、御鄭重なる御祝意を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年の十一月十四日、厚生労働大臣より褒章の記、褒章の伝達を受け、引き続き皇居へ参内し天皇陛下に拝謁の栄誉を賜りました。
これもひとえに永年にわたり皆様から頂いた御指導御鞭撻の賜と心より感謝申し上げます。
今後ともこの栄誉に恥じることのないよう一層精進し些かなりともご芳情に報いたいと存じますので、何卒従前の御厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

第6回 ボウリング大会の開催

健康づくりと仲間の親睦を図って

平成30年度ボウリング大会が12月2日(日)金沢市無量寺町のコロナキヤットボウル金沢店において開催された。
当日は、28レーンを使用し各地区から99名が参加、久々にボウリングする人が多く、老若男女を問わず参加者の皆さんは練習投球から熱の入ったゲームを展開した。

午後1時30分に開会、松本会長の開会挨拶の後、嶋田厚生部長から、女性へのハンディや2ゲームの総得点で順位を決定する等のルール説明が行われた。その後練習投球ののち、会長による始球式で競技が開始されたが、この投球が見事にストライクとなり、ご褒美に清涼飲料水1箱(24缶)がボウリング場から贈られた。

ゲームは、力まかせに投球する人やストライクを出しハイタッチする人、スペアがなかなか取れず照れ笑いしながら残念がる人など、後方で見ている思わず拍手をしてしまう・笑って



しまう場面が何度もあり、館内にはぎやかな歓声に包まれ大会は大いに盛り上がった。
また、今回も奥さんや子供達の参加もあり、家庭的雰囲気の中で和やかに大会が進み、短い時間ではあったが健康づくりと仲間の親睦を図ること

ができ、楽しくそして意義ある大会であった。
各選手は試合を終え、お互いのゲーム内容を話し合っている人、疲れた足腰を撫でてい

る人など大会の余韻が残る中成績発表があり、成績上位者及びとび賞の人に賞品が贈られた。そして最後に角中理事が閉会の挨拶を行ったあと解散となった。

成績上位者は次表のとおりです。
(厚生部長 嶋田一夫)

1位	番匠 建次(金石)	378点
2位	川田 一久(富来)	349点
3位	吉野隆二郎(金沢市)	349点
4位	小崎 達吉(七尾)	346点
5位	山西 洋輔(根上)	340点
6位	油木寿美男(金沢市)	334点
7位	新宅 勝(白山市)	333点
8位	石黒 祐文(金沢市)	333点
9位	上杉 雅幸(金沢市)	326点
10位	梅田 時雄(邑知)	324点

加賀市建築組合連合会 勉強会

本年加賀市建築組合連合会では、大聖寺に、9月に上棟し建築中の能楽堂にて青年部の方々を中心に、11月に勉強会を行いました。
本能楽堂は、大聖寺十萬石の風情を後世に残そうと建設に至ったものであり地元若手大工が棟梁となり施工中と言



う事も有り、青年部の方々の技術的質問が多く出され、昔ながらの能舞台の建築技術に理解を深めました。
又、建設を主導する大聖寺地区のまちづくり団体の局長から建設に至った経緯や、能舞台の細かな解説も頂きました。落成は来春の予定です。
(橋立建築組合 広報部 奥江清裕)

七尾鹿島建築組合連絡協議会・夏休み企画

子どもお仕事体験

この子ども達への多くは進学や就職などで県外に行ってしまう、地元で就職する子が少なく、なっています。
このような状況をちょっと憂いて地元への愛着心や地域活性化の向上を目的とした企画を行いました。
時は昨年夏休みも終盤の8月25日、場所は七尾市の七尾サンライフプラザです。内容は大工さんなど職人さんのお仕事体験で、かな



な削りや額のクロス張り、そして花壇台の組立体験などです。
単別の組合長さん達

の多くは進学や就職などで県外に行ってしまう、地元で就職する子が少なく、なっています。
このような状況をちょっと憂いて地元への愛着心や地域活性化の向上を目的とした企画を行いました。
時は昨年夏休みも終盤の8月25日、場所は七尾市の七尾サンライフプラザです。内容は大工さんなど職人さんのお仕事体験で、かな

後継者対策に思う!

私は、小松市にて建築大工をしており、はや37年が過ぎようとしています。37年前は大工見習いから始め、ノミの使い方、木造り、カンナでの柱削り・天井板削り、そして墨付けして仕事を覚えて参りました。
その当時では当たり前の事が今では、プレカットで大半の建前ができるようになり、仕事を覚えられない機会がなくなっている状況から、今後の後継者育成問題(建築大工を育てようと思

に材料の手配や子ども達への製作指導などご協力を頂き、子ども達の真剣に取り組む姿も微笑ましく、楽しくにぎやかな雰囲気で大盛況の仕事体験でした。
(七尾鹿島建築組合連絡協議会長 濱岸 敏夫)



思っている)も現場仕事などに迫られ育成しようにもなかなか出来ないのが現場の意見なのではないでしょうか。
このことは、ある意味、人手不足で後継者育成まで手が回らない現実があるし、また、建築組合員を見てもハウスメーカーに常駐して仕事をされている方が大半を占めています。そして元請け業者においても指導者育成からじゃないと指導ができない現状を思うと、今後5年から10年が過ぎるとリフォーム、改装、改修、増築などができる大工さんたちが居なくなるのではと心配しております。
後継者になりうる人達も、仕事をして賃金を頂くことは当たり前ですが、半人前にもならない人に賃金を支払う親方の気持ちも理解してほしいし、親方は一人前になるまでの期間には、時間、現場打合せや指導に時間を取られま

す。そして後継者になる人は、次に続く若い人にも「職人と言われる業界は簡単ではないよ」と教えず、何事にも感謝の気持ちを持ち親方にも厚い信頼関係を持つことが、お客さんとの良い信頼関係を築くことになり、その結果仕事が増え、そして後継者育成もできるようになるのではないかと考えます。
(小松能美建築連合会長 谷口 卓司)

